

11 一人品証・品管のための パワーアップセミナー

JMA152283



3時間

会社の規模やその他様々な理由から、品質保証、品質管理担当を多数アサインできない企業が増えております。今後ますます増える業務を、効果的に、しかもさらにパワーアップさせていくために、品質保証、品質管理部門のロードマップを描き、少人数の品証、品管部門の構築をめざしていただきます。さらに、様々な業種、企業の事例を学ぶことで、自社で取り入れられる業務推進方法を検討いただきます。

対 象 ● 中堅企業の品質保証、品質管理部門のマネジャー

講 師 野元 伸一郎 みらい(株) シニアディレクター
北陸先端科学技術大学院大学
非常勤講師



会 期 ● 2025年 6月18日(水) [オンライン]
● 2025年12月 2日(火) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	35,200円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	35,200円／1名
	上 記 会 員 外	38,500円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

プログラム 14:00～17:00

1 品質保証、品質管理部門の現状把握

- 品質保証、品質管理部門の業務範囲拡大と比例していない人材育成
 - ー 今更ながらリーマンショックの影響
 - ー 直間比率に絞ったコスト革新下でのスタッフの増員
- 業務革新の構築について
 - ー 品質保証、品質管理保証業務のデジタル化、ツール化、教育体系の構築状況

2 品質保証、品質管理体制の見直し ～ロードマップの検討～

- 中長期的に品質保証、品質管理部門をどうしたいか
- 人材について
- 体制、ツール整備はどうするか
- 品質保証、品質管理体制のロードマップの検討

3 直近の対応方法 ～効果的なアウトソースの活用～

- アウトソース先の選定と評価
- アウトソース先への意思の伝え方
- アウトソース先への管理資料作成依頼とチェックリスト類の作成 等

4 ミニケーススタディ

5 まとめ

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

12 開発設計部門と連携した 開発設計上流からの品質革新セミナー

JMA152025



3時間

- ◆ 品管・品証部門の価値を向上させ、開発設計上流から品質向上を実現するためのアプローチを学ぶ
- ◆ 品管・品証部門のスキルアップ、アプローチ法を学ぶ
- ◆ ケーススタディを通じて、フロントローディング・アプローチを学ぶ

対 象 ● 品質保証部門の管理者・担当者、開発設計・設備設計部門等のマネジャー、担当者

講 師 野元 伸一郎 みらい(株) シニアディレクター
北陸先端科学技術大学院大学
非常勤講師



会 期 ● 2025年 7月30日(水) [オンライン]
● 2026年 2月 9日(月) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	35,200円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	35,200円／1名
	上 記 会 員 外	38,500円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

プログラム 14:00～17:00

1 “攻め”の品管・品証部門とは

- 品管・品証のフロントローディング・アプローチ
- 4つのアプローチ
 - 過去トラブル活用、変化点活用、バラツキ予測、ユーザビリティ・チェック
- コンカレント型品質保証体系構築
- 他社事例

2 “攻め”の品管・品証を実現するためのスキルセットとマネジメント

- 近年、求められる品管・品証部門の役割
- 開発設計部門へのアプローチ
- 自己診断
- スキルセットとスキル獲得に向けて

3 ミニケーススタディ

4 まとめ

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

13 品証・品管マンのためのロジカルシンキング研修

JMA152482



3時間

品証・品管マンが実際に使うことが多いと思われるツールを使いながら、納得してもらえる状況を作るスキルを学ぶ。

対 象 ● 品質保証、品質管理部門の担当者

講 師 野元 伸一郎 みらい(株) シニアディレクター
北陸先端科学技術大学院大学
非常勤講師



会 期 ● 2025年 6月24日(火) [オンライン]
● 2026年 2月24日(火) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	35,200円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	35,200円／1名
	上 記 会 員 外	38,500円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

プログラム 14:00～17:00

1 品証・品管マンに求められる「ロジカルシンキング」とは

- ケース解説1：新規商品フロントローディング活動への参画する
- ケース解説2：製造現場での歩留まり向上活動に参画する
- ケース解説3：顧客クレームをロジカルに整理する

2 そもそもロジカルシンキングとはどういうことか

- MECE / フレームワーク思考
- ロジックツリー / ピラミッドマトリクス、帰納法 / 演繹法等の思考法の理解と活用

3 日常業務の中でロジカルシンキングを活用する

- QC7つ道具との連動
- 層別、魚の骨(特性要因図)とフレームワーク思考
- グラフで網羅性を高める
- なぜなぜ分析の深耕
- マインドマップの活用
- 施策展開と効果予測

4 ケーススタディ

5 まとめ

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

14 効率化推進のための業務データ「利活用」セミナー

JMA152514



3時間

ISO9001 規格では、データ分析の必要性がうたわれています。しかし、実際にはデータをとってはいるものの、積極的な使い方で活かされていないものもあるようです。また、部門を越えてデータを分析することで、新たな業務改善のネタも見えてくると思います。本セミナーでは、分析していなかったデータに焦点を当て、新たな活用の仕方や業務改善等に役立つ使い方につなげていくことを目指します。

対 象 ● 品質管理・品質保証、ISO事務局、製造部門、開発設計、営業、商品企画、等の担当者

講 師 野元 伸一郎 みらい(株) シニアディレクター
北陸先端科学技術大学院大学
非常勤講師



会 期 ● 2025年 8月26日(火) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	35,200円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	35,200円／1名
	上 記 会 員 外	38,500円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

プログラム 9:00～12:00

1 身近にあるデータ

2 データ分析するとどんなことがわかるか

3 ITがなくてもできるデータ分析

4 データ利活用とは

5 事例紹介

6 データ利活用を組織的に進めるためには

7 まとめ

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。